

第4章 研究ノート・提言

教師を目指す学生に伝えたい実践力③

—初めての特別支援教育担当としての心得—

辻 誠 一^{1), 2)}

キーワード：実践力 新任教員 特別支援教育担当 指導法の基礎・基本

I はじめに

障害児者の教育も「特別支援教育」へと大きく変化し、世の中の障害への理解も高まり、共に育つ・生きる・学ぶ」社会を目指している。また、教育の世界では、インクルーシブ教育システム構築を実現するために全ての教育の場（幼小中高）の中で、「特別支援教育」が推進される時代となり、「特別支援教育」理解の重要性が指摘されている。

全国の教員養成大学と同様に本学でも教師を目指す学生の「特別支援教育」の免許取得へのニーズが高まり、特別支援学校教員採用ランキング（大学通信調べ「大学ランキング」朝日新聞出版より）では、三年連続で特別支援学校への採用者全国一の実績を上げている。

今年度の本学の教員採用試験結果は好調であり、この4月から新任教員として、早くも特別支援学校・学級の教壇に立つ卒業生も多い。そこで、今回は、教師を目指す学生に伝えたい実践力③として、著者が明治図書 の月刊誌「特別支援教育の実践情報」(2013.5)の提言に寄稿した『初めての特別支援教育担当・準備のための最初の心得「はじめての指導法理解の基礎・基本！」』の原稿を基に、この4月から実際に教壇に立つ学生のために、教師の心構えと実践法を紹介し解説する。

II 本学の教員採用試験結果と特別支援教育教員免許状の保有率

今年度における本学学生の教員採用試験・校種別結果（表1）を見ると、二次合格者数は、小学校の延べ56人（実数47人）に次いで、特別支援学校は、延べ30人（実数26人）という結果であった。実質的には、小学校合格の47人の中にも、宮城県及び仙台市等において特別支援学校での勤務が予想される学生も多い。

また、表2の特別支援教育免許保有率に関しては、免許保有者が合格者の92%と高い割

1) 東北福祉大学教育学部教育学科

2) 東北福祉大学教育・教職センター特別支援教育研究室

合を示し、本学での「特別支援教育」の免許取得へのニーズの高まりが考えられ、このことが「特別支援教育」免許取得による教員採用試験結果の好調さに直結していると考えられる。

表1 東北福祉大学・教員採用試験の結果（二次合格者校種内訳）

	小学校	特別支援	中社・高校	養護教諭
合格者数	56 (47)	30 (25)	4 (4)	15 (14)

※教職課程支援室より資料データ提供

※合格者数は延べ人数である。なお（ ）内の人数は実人数

表2 東北福祉大学・教員採用試験の結果と特別支援教育免許保有率

	受験者数	一次合格者	二次合格者
実人数	132	94	72
特支免保有者	112 (85%)	82 (87%)	66 (92%)

※教職課程支援室より資料データ提供

※人数には養護教諭の学生及び大学院生は含まない

III 初めての特別支援教育担当としての心得

他の教員養成大学と同様に本学でも、4月から新任教員として、特別支援学校・学級の教壇に立つ卒業生が多いことから、卒業生の実践力を高めるために、著者が、明治図書の月刊誌「特別支援教育の実践情報」（2012.4）に寄稿した『初めての特別支援教育担当・準備のための最初の心得「はじめての指導法理解の基礎・基本！」』の原稿に、最近の情報を加筆し紹介する。

1. はじめに

4月の一学期スタートは、子どもたちだけでなく、我々教師にとっても、期待と不安が入り混じる時期であり、ましてや「特別支援教育」（特別支援学校・特別支援学級等）を初めて経験しようとしている先生方にとっては、未知の世界となり、なおさら不安に思う時期である。

しかし、それほど心配する必要はない。なぜなら、「特別支援教育」も「通常の教育」もある意味で教育の基本・本質は全く同じだからである。

あなたは自分から特別支援教育担当（学校・学級）を希望し担任になったのですか？

実は、私が以前、勤務していたB特別支援学校は、毎年30～40名の職員の異動があり、初めて「特別支援教育」を経験する教師が多かったのである。

そのためK特別支援学校では、4月に初めて「特別支援教育」に携わる教師向けの研修会を計画的に実施していた。

その研修会の内容から、「はじめての指導法理解の基礎・基本！」に役立つ一部の内容を紹介する。

2. 教師としての基本姿勢と心構え！

①教師の仕事とは！

全ての教育の基本は同じである！

- 目の前の子どもたちの学習（成長発達）に責任を持つこと。
 - 日々の授業に責任を持つこと。
- ＜そのために＞
- ・教材研究や授業の事前準備、評価改善等を行うことが大切である。



特に特別支援教育では！

- 子どもたちの実態をしっかりと見抜き、よりきめ細かな指導・支援が必要である。
- 日々の授業の工夫が重要（「できる状況づくり」）である。
※ICFの視点やユニバーサルデザインの視点が役立つ。
- 「通常の教育」のように決まった教科書がない。
※だからこそ、教師のアイデアと感性が必要なのである。



●【流された授業】では駄目！

- 計画性のないその場限りの授業
- 子どもたちも教師も楽しくない授業
- 昔よく言われた言葉『「子守教育」では駄目』
になっている授業

●【充実した授業】とは！

- しっかり工夫・計画・準備された授業
- 子どもたちも教師も楽しく達成感のある授業

②「特別支援教育」に携わる心構え！

- 誰でも最初は初心者である。
- 特別支援教育の全部を知り尽くしたスペシャリストはいない。

- 一番大切なことは、子育てと同様、愛情（温かな目と手と心）を持って指導することである。
- 人間の発達の道筋をしっかり理解することが、指導に役立つ。
- 視点を変え、自分の専門（得意技）を日々の指導に生かすことが大切である。
 ※自分の専門（社会、数学、体育、音楽、英語等）全ての教科が役に立つ。
 ※その後、少しずつ特別支援教育独自の教育課程（生活単元学習や作業学習、自立活動等）を理解することが必要である。
- 子どもをより理解するために日々の記録の累積が鉄則である。
- 初めての教師は「特別支援教育」の本質を学び、ベテラン教師は「特別支援教育」のノウハウを初めての教師に伝えることが大切である。

3. 指導法理解の基礎・基本

「特別支援教育」では、特に子どもたち一人一人の障害の特性や教育的ニーズに応じ、きめ細かな丁寧な指導が求められていることである。

著者が考えている「特別支援教育」における指導法理解のための重要な基礎・基本の一部を紹介する。

① 4月の「学級づくり」を大切に！

「特別支援教育」においては、楽しい学校生活や分かる楽しい授業の基盤となるのが「学級づくり」である。

まず、子どもたちの実態に合わせ、子どもたちにとって動きやすく見通しがもてる学習しやすい教室環境を作ることが大切である。さらに学級の決まりや約束をしっかり決め指導に生かすことが重要である。

② 「朝の会」の充実を！

子どもたちの実態を深く理解し、指導の基本を理解するためには、毎日繰り返されている「朝の会」をしっかりと教育課程に位置づけ、子どもたちの実態に合わせ内容を工夫し充実させることが重要である。

③ 子どもの「良いところ」探しを大切に！

子どもたちの問題行動に惑わされ、その行動だけに振り回されないことが大切である。子どもたちの良いところ（好きな事や物、できること）を一つでも多く探し当て指導に生かすことが大切である。

④ その他の重要事項！

- 特別支援学級同士の計画性のない安易な合同学習は禁物である。
- 優しさと甘やかしは、全く違う。時には厳しい指導も大切である。

- 1対1の個別指導だけでなく、集団の中での個別化が大切である。 等々

4. おわりに

一人でも多くの本学学生が、「特別支援教育」の基礎・基本をしっかり学び、「特別支援教育」の魅力を肌で感じ、新任教師として、「笑顔いっぱい！元気いっぱい！」で活躍することを期待する。

IV 最後に学生の皆さんに期待すること

本学学生の特別支援学校における教育実習での様子は、日頃から福祉活動やボランティア活動等に積極的に取り組んでいる学生が多いためか、各実習校からは、「教師を目指す」という意欲が感じられ、社会人としての挨拶や態度が立派であり、障害のある子どもたちとのかわりも適切で即戦力となる学生が多いという高い評価をいただいている。

この若く意欲溢れる本学の学生たちが、4月から一人の教師として全国の学校現場で、個性豊かな多くの子どもたちと出会い、その子どもたちや保護者、先輩教師から多くを学び、現場で役立つ実践力を身に付け、教師としてさらに成長することを期待している。

最後に、著者が校長として勤務した宮城県立A養護学校(3年間)、宮城県立B支援学校(2年間)時代に、職員会議で校長資料に書き留め発信してきた4月に職員に大切にしてほしい視点(最初の心得)「校長のつぶやき」を本学学生のために紹介しまとめとする。

● 4月スタート時期の心の準備と心構えアドバイス！

どの教育も、4月の新学期スタート時期が肝心である。子どもたち一人一人の実態や教育的ニーズをしっかり見定め、保護者と協力し指導・支援することが大切である。

【校長室のつぶやき・指導支援①】

☆4月は、子どもたちとの我慢比べの時期である。☆

☆一年間の指導の成否は、4月の学級づくりで決まる。☆

参考・引用文献

- 1) 辻誠一著『初めての特別支援教育担当・準備のための最初の心得「はじめての指導法理解の基礎・基本！」』、明治図書、特別支援教育の実践情報 5月号、2013。
- 2) 辻誠一著「学生・若手教師のための(実践)特別支援教育テキストブック」、教育開発研究所、2017。
- 3) 辻誠一著「改訂・特別支援教育のコツと技」、日本文化科学社、2008。

※2015年4月 フィリア出版より再版